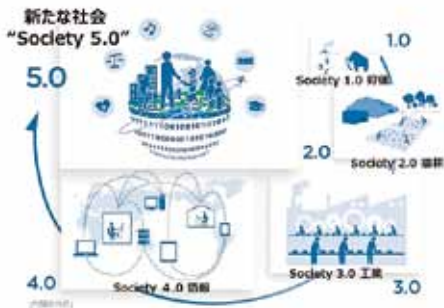




堀岡 敏喜 議員
公明党

問 スマートシティ弥富を目指せ

答 多様な思いやアイデアを発揮



▲内閣府ホームページより
Society5.0の説明



問 Society5.0について市の認識は。

答〔総務部長〕 Society4.0の情報化社会で、個別に機能していたシステムを分野の異なるシステム同士を連携させることで新たな価値が生まれ出されること。

問 今後の対応、取り組みは。

答 令和4年度には、国保特定健診受診率向上のため、受診結果や受診履歴等の統計分析を行い勧奨を実施予定。

問 仮称「やとみSociety5.0構想」の策定について市の見解は。

答 策定予定はない。

問 地域やスマート化を図る分野を限定し、モデル事業として取り組みを具体的に進めることについて市の見解は。

答 道路損傷具合をAIで測定させることや、高齢社会での医療・介護ニーズに応え、オンラインでの遠隔診療や睡眠時の動静確認など分野を絞って行っていく。

問 未来の創造イノベーション起こせ

答 インクルーシブな社会の創造

問 自分らしく豊かに生きていくためSociety5.0という社会に向け、必要な教育について基本的な考えは。

答〔教育部長〕 これまで以上に人間が中心の社会であり、読解力や考える力、対話して協働する力など一人一人の多様な関心や能力を引き出すことが求められる。

また、義務教育に求められるのは、常に最先端の知識を追いかけることではなく、学びの基盤を固めることと考える。



問 Society5.0社会に向け、現状の課題に対応しながらポジティブに本市の未来を創造するイノベーションが必要と考えるが、市長の決意と総括は。

答〔市長〕 だれもが多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、豊かな人生を享受できる、インクルーシブな社会、まちづくりを創造していく。